

進取 自律

豊崎中学校
校訓 昭和45年～

令和2年6月29日(月)
第14号
文責 前田篤志



校則について考える

校則とは、「生徒が健全な学校生活を営み、より良く成長発達していくための行動の指針として、各学校において定められているもの」であり、「見直す際は、生徒が参加して校則を自分の問題として主体的に考える機会を与えたり、保護者やPTAとの話し合いをもち、学校や家庭の役割について話し合いながら校則について理解を求めることも有意義な方法」（「 」内は文部科学省から引用）のように規定されています。

今の豊崎中には、「生活の心得」として、身だしなみや持ち物などについて定めた校則があります。去る5月29日に、心得の中の「身だしなみ」について全校で協議した結果、次のようになりました。

決定したこと

- 髪**：・前髪は眉毛にかからないぐらい。・後ろ髪が肩ぐらいになったら結ぶ。
制服：・男子の制服のホックは、授業中ははずして良い。・中に着る白Tシャツは豊中指定でなくても良い。

ジャージ：・中に着る白Tシャツは豊中指定でなくても良い。

協議しても決まらなかったこと

- 髪**：ツブブロ（ツブブロック）、アシメ（アシンメトリー）はいいのか。
装飾品（指定カバンやペンケースなどに）：そもそもつけても良いのか。⇒良い場合、どこに、どのくらい、どんな種類など。

冒頭に記載したように、今回の協議は「生徒が参加して校則を自分の問題として主体的に考える機会」です。決定内容については、教員で協議した結果、生徒の意見を尊重して、異議なしでした。決まらなかったことについては、最上級生の意思を尊重することを第一義とし、再検討としました。

生徒には、この取組を通して、正解ではないその時々最適解を得る道筋を実感することを期待しています。また、合意形成を図る際には、豊崎中学校の中だけに通用する考えではなく、社会においても通用するという視点が重要であることも理解して欲しいと願います。加えて、身の回りのことについて、「あれ?」「おかしいぞ?」といった「違和感」を感じるアンテナをもつことと、感じた違和感を声に出していこうとする態度も育てていきたいです。

3年生の“決意”

3年生の学級に掲示している「3年生の目標」です。全員が協力して文言を考え、全員で手書きしていて、思いが伝わってくる素敵な目標だと感心しています。

